



この春、自主的に学習に取り組むには

●長期休業中は、学力差が開きやすい

1週間の自宅学習期間が終わり、今日からまた学校生活が始まりました。とはいえ、あと2週間すれば、再び春季休業に入ります。この期間は、学力差が大きく開きやすい時期です。なぜなら、学期中であれば学校で学習する時間が多いですが、休業期間中はそうではないので、自主的に学習する人としらない人とで、大きな学力差が生まれるからです。

●課題の他にもプラスαの学習を

まずは、春季課題に意欲的に取り組むことで、3学期の既習事項を、しっかりと定着させることが大事です。その上で、自分の得意科目を伸ばしたり、苦手科目を克服したりというプラスαの学習にも取り組むことが求められます。そこで今回は、自主的に学習に取り組む方法について述べていきます。

●自分の進路目標の再確認を

ここで、根本に立ち返るために、自分の進路目標をもう一度しっかりと確認してみましょう。例えば、「私はなぜ種子島高校で勉学に励んでいるのか。それは、鹿児島大学の工学部に進学して、将来エンジニアになるためだ。」このように思っているのであれば、今、何をしなければならぬでしょう。



●学力をつけることで、夢に近づく

進学でも就職でも、自分の進路を実現するためには、学力が必要です。しかし学力は1日2日では身につけませんから、目標を定め、学習計画を立て、地道に実行することが求められます。これによって、限られた時間を有効に活用し、一步一步夢に近づくのです。

●目標を定める

第一に、目標を定めることについて、具体的に考え

えてみましょう。例えば、鹿大・工学部などの地方の国公立大学に60%以上の確率（B判定以上）で合格するためには、大雑把に言って進研模試5教科の偏差値（SS）で約57（3年生はSS50）が必要です。これには進研模試で各教科約50点以上が必要です。前回の模試での偏差値（得点）を覚えていますか。各教科について、これをあといくつ（何点）上げると、目標偏差値（得点）に届くのかを確認しましょう。

●学習計画を立てる

第二に、ノートなどに具体的な学習計画表を作りましょう。例えば、前回の模試で英単語が不十分であるという結果が出ていたとします。そのためこの春は、英単語の実力アップのために、単語帳（全60ページ）を毎日1時間、4ページしようという計画を立てます（4ページ×15日＝60ページ）。

●学習を地道に実行する

第三に、学習を地道に実行しましょう。その初期段階では、計画に不具合も感じることもありますが、その場合、実行しやすいように計画を修正しましょう。しっかり実行できたら、計画表の今日の所に、丸をつけます。これを毎日続けると、計画表に丸が並んでいきます。こうすると達成感が感じられ、学習を継続しようという気持ちが強くなります。このように、着実に実行し続ける体制を作ります。

●教科担任の指示に従い、正しいやり方で

その他、教科担任の先生から、例えばSS57に届くための学習法を、授業で教わっていると思います。それを確実に実行しましょう。プロである先生のアドバイスに従って、正しいやり方で学習することが大切です。また、わからない時には質問しましょう。

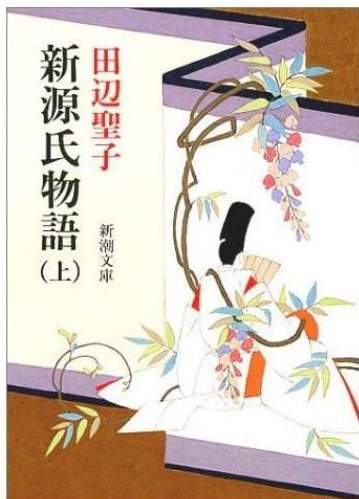
●今後の予定

普通科2年進学の生徒は、約1カ月後に学研模試を受験します。ここから浪人生が参加するため、大抵の生徒の偏差値は5～7程度下がります（2年次のSS57は、3年次SS50に下落する）。したがって、努力して、この下げを最小限に抑えることが重要です。皆さんが1カ月後にまた一歩夢に近づいているように、この春の健闘を祈ります！（担当：柿内）

楽しみながら学習する方法としての読書

学力をつけるためには、まずは、学校の授業に集中して取り組むことが最も大切です。とはいえ、学校で学習する時間に比べると、家庭で過ごす時間が長いことも確かです。ですから、この家庭で過ごす時間を充実したものにするのができたら、学力はさらに伸びることが期待できます。そこで今日は、家庭で楽しみながらできる学習法の1つとして、読書を紹介します。ここに紹介するような本を読んで、楽しく学びましょう。

①田辺聖子『新源氏物語（上）』新潮文庫



②三田紀房『ドラゴン桜』モーニングKC



③小室直樹『痛快！憲法学』集英社インターナショナル



④柳田国男『遠野物語』岩波文庫



以下に、本の内容を紹介します。本校の図書室にありますので、ぜひ足を運んでください。

①…著者が紫式部の『源氏物語』を思い切って訳し、源氏と女性達の恋愛がいきいきと描かれる。物語として面白い上に、あらすじが頭に入るので古典の試験に『源氏物語』が出題された時に有利になる。

②…元暴走族の弁護士桜木と、一度は人生をあきらめた生徒達が、東大合格を目指すマンガの小説版。受験勉強の方法や心構えを学ぶことができる。

③…世界史の真髄を学ぶことができる本。歴史に学んだ人類の知恵が、憲法の仕組みに活かされていることを理解できる。

④…『遠野物語』は明治末の岩手県遠野の民話を集めたもの。河童や座敷わらしなど、妖怪の不思議な話もある。日本の文学や物語の源流を感じさせる。